

日本で最初にオリンピックが開かれたのは、1964年（昭和39年）の東京オリンピックだった。開会式は、10月10日だった。この日は、晴れの特異日だと聞いたことがある。晴れの特異日とは、晴れの確率が高い日のことである。他には11月3日などがある。

後に、10月10日は、体育の日として国民の祝日となった。2000年からは移動祝日となり、2020年（令和2年）に現在のスポーツの日となった。この頃だろうか。体育という表現がスポーツに変わった。国民体育大会、いわゆる国体は、国民スポーツ大会となった。略して、国スポだが、どうもしっくりこない。日本体育協会、日体協は、日本スポーツ協会となった。市民体育祭は、市民スポーツ大会となった。学校の教科名である体育はというと、体育のままである。保健体育も、そのままである。

もう30年も前のことになる。1995年（平成7年）のことである。第50回国民体育大会秋季大会が開幕した。10月14日だった。当時、市内の中学校に勤務していた。何度も、開会式の会場である県営あづま総合運動公園の陸上競技場に通った。集団演技というものがあった。中学生も参加することになっていた。何度か練習の機会があり、リハーサルを経て当日を迎えた。

大事なのは、お天気である。見事に晴れたことを覚えている。選手宣誓は、女性の陸上競技選手が務めた。その方と、数年前に出会うことができた。現在は、すぐお隣の小学校でご活躍である。マスコットはキビタンだった。テーマソングもあった。THE ALFEEの「JUMP！」である。

あの当時の福島県は、ふくしま国体が最優先だった。学校もその波にのみ込まれた。集団演技を担当することになったのは、2年生だった。中学生の記憶の中で、ふくしま国体はどういった位置づけなのだろうか。

会場に行くたびに、お弁当が出た。なぜか覚えている。ずいぶんとお金がかかっているのだろうと余計な心配をした記憶がある。何が何でも、福島県が総合優勝しなければならないという覚悟、いや悲壮感が漂っていた。そういう時代だったのだろう。

体育の日が、スポーツの日となり、何だかさびしい気がする。10月10日は体育の日ではなくなってしまった。移動祝日なってからは、祝日のことをあまり気にしなくなった。あれっ、今日はなんで休みなんだっけ。そんな感じである。

スポーツの日にも、徐々に慣れていくのだろう。たまにキビタンを見ることがある。長きにわたり、福島県のためにがんばってくれている。今思うと、よくできたマスコットである。今の時期は、毎年、晴れの日が多いように感じる。きっと、キビタンのおかげだろう。